

2024年6月20日

各 位

会 社 名 盟和産業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 飯塚 清
 (コード番号7284 東証スタンダード)
 問合せ先 総合管理部長 伊藤 明彦
 (TEL. 046-223-7611)

長期ビジョン及び中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2035年を展望した長期ビジョン及び2025年3月期から2031年3月期までの7年間を対象とする中期経営計画を策定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 策定の経緯

当社グループは、2008年に長期ビジョンを策定し、これに基づく4回の中期経営計画を実施してまいりました。一方、この間の新型コロナウイルス感染拡大、これに続く半導体供給不足等による自動車減産、さらには電動車へのシフト、自動運転・コネクテッド技術の進化、シェアリングの拡大等自動車業界の大変革もあり、取り巻く事業環境は大きく変化しております。このため、今般新たな長期ビジョンと中期経営計画を策定致しました。計画の実行を通じて企業価値向上に努めてまいります。

2. 長期ビジョン 2035

独自の樹脂技術と環境にやさしい循環型の物造りを進化させ、モビリティの未来と多様な社会基盤を支える会社を目指す。

3. 中期経営計画 MWX2030

① 期 間：2025年3月期～2031年3月期（7年間）

② 名 称：「MWX2030」

2030年に向けた盟和産業（MW）の変革、トランスフォーメーションを表します。

③ 構 成：期間を3段階に分け、第1ステージ（2年間）は足元の収益基盤強化、第2ステージ（3年間）は今後の成長軌道確立、第3ステージ（2年間）で取組みの成果実現により数値目標の達成を目指します。

④ 重点課題：

	項目	取組内容（例）
収益力強化	取引採算の改善	販売価格の適正化、低採算取引の見直し
	一貫生産体制強化	購入部品内製化等
	製造・管理の効率化	省人化・省エネルギー設備導入、DX活用
	原価改善	グループ全体での買い方、造り方、運び方改善
成長戦略	新分野開拓	保有技術を活かした関連分野の開拓
	循環型の物造り	CE（サキュラーエコノミー）への対応
	既存分野拡販	新製品受注、取引シェア拡大、非日系顧客開拓
ESG 経営	カーボン・ニュートラル推進	2030年までにCO2排出量2013年度比半減
	人的資本の拡充	層別人員体制確保、海外拠点技術者の現地化
	資本コストや株価を意識した経営	株主価値の向上、ROE・PBR等指標改善

4. 数値目標

	2024年3月期実績	2031年3月期目標
連結売上高	223億円	270億円
連結当期純利益	△4億円	9億円
ROE	△2.8%	8.0%以上

(注) 上記の目標値は、本資料発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要因により記載の目標数値とは異なる可能性があります。

以 上